

# 百日咳

## 1. 百日咳はどんな病気ですか？

百日咳菌が感染しておこる、咳を主とした急性の呼吸器感染症です。  
感染力が強く、6か月未満の乳児がかかると呼吸不全など命に関わる場合があります。

## 2. どのように感染しますか？

- ①感染している人の咳やくしゃみで飛び出した菌を吸い込み感染する飛沫感染。
- ②感染している人との直接の接触や、菌がついている手やドアノブを介して感染する接触感染。があります。



## 3. どのような症状ですか？

### ①カタル期

軽い風邪症状で始まり、次第に咳が激しくなる。

### ②痙咳期

激しく咳き込み、最後にヒューと息を吸い込むような咳発作が続く。

### ③回復期

次第に発作が減り、回復していく。

よくなるまでに、2～3か月かかります。



## 4. 治療は？

マクロライド系の抗菌薬を投与します。  
カタル期の早期に投与するとより有効とされています。

## 5. 予防は？

生後3か月から4種混合ワクチンが接種できます。

## 6. 小学校入学前の追加接種とは？

百日咳のワクチンの効果は数年から10年前後で低下するため、小学校入学前に追加の予防接種が必要です。

**3種混合ワクチン(ジフテリア、百日咳、破傷風)と不活化ポリオワクチンの接種を推奨しています。有料ですが、ぜひ接種してください。**